

こんにちは。『最近涼しくなってきましたが、水分をとって熱中症にならないように気を付けましょう』『夏休みが終わりました。早寝早起きなどの生活習慣を取り戻しましょう』6年生ありがとう。とてもいいことを言ってくれました。

8月29日、水泳の池江璃花子選手が、白血病の長期療養を乗り越えて、1年7か月振りにレースに出場しました。50m自由形。自身の持つ日本記録より2秒11遅い、26秒32で5位になりました。日本学生選手権の参加標準記録の26秒86を上回るのが目標でしたので、目標は達成できました。『第2の水泳人生の始まり』と池江選手は言っていました。素晴らしいですね。2024年のパリオリンピックに向けていいスタートが切れました。

さて、今日は5年生のお勉強の話をしていきます。今5年生は『社会』で水産業を学んでいます。先週木曜日に5年2組の授業を見に行きました。さすが5年生。タブレットを使って自分の目当てに沿った調べ学習ができていました。どんな勉強をしていたかという魚の『サンマ』のことでした。海で泳いでいるサンマはどのようにして捕られているのかを調べて、みんなで考えていました。次の時間には、漁師さんたちが捕ったサンマがどのように私たちの食卓に来るのかを調べるそうです。

そう『サンマ』と言えば、結構私たちにとって身近な魚です。給食にも前はよく出ていた食材です。そして『目黒のさんま祭り』は有名ですね。その『目黒のさんま』は落語の噺の一つです。その昔お殿様が目黒まで遠乗りに出かけたとき、お弁当を忘れてしまったのです。みんながおなかをすかせていたら、いい匂いがしてきました。サンマを炭火で焼いている匂いでした。お殿様は、丁寧に調理されたものしか食べたことが無く、しかも毒見係の者がお毒見をした後で食べるので出来立ての温かいものを食べたことがなかったので、こんないい匂いを嗅いだことはありませんでした。お殿様がぜひ食べたいと言うと、家臣たちは『だめです。こんなものは庶民の者の食べ物で、お殿様には差し上げられません。』と言って止めましたが、お殿様は聞きません。食べたら、そのおいしさに感激して大好物になりました。そんなある日、お殿様は『サンマ』が食べたいといい、調理させました。そしたら、調理の者が『サンマを焼くと脂がたくさん出て身体に悪い』と言って脂をすっかり抜き、骨がのどに刺さるといけないと骨を一本一本抜くと、身が崩れて見栄えが悪く、これではお殿様にお出しできないと、お椀に入れて出しました。お殿様は食べました。あまりにまずいので、家臣に『どこで買ったのか』と聞くと家臣は『日本橋の魚河岸です』と答えました、お殿様は『ううむ。それはいかん。サンマは目黒に限る』と言ったそうです。それで、海も無いところなのに『目黒のさんま』が有名になったというお話です。

そのサンマですが、昔はたくさん捕れたので値段も安く、庶民の味方でしたが、最近は漁獲量が年々減っています。去年のサンマの漁獲量45800トンで、それは約60年前の漁獲量の12分の1だそうです。今年の7月、産地である北海道のお店でなんと1匹5980円のサンマが登場したそうです。お殿様もびっくりですね。

5年生の皆さん、今後も水産業のお勉強の続き頑張ってくださいね。『目黒のさんま祭り』今年中止ですが、機会があったら行けるといいですね。目黒駅は品川区ですし、西側は四日野の学区域ですからね。5年生の勉強と『サンマ』のお話でした。明日から9月。少し涼しくなるといいですね。